



<COPY>

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 260

Governor's Monthly Letter

10 15. MAR. '80
第10信
No. 昭和55年3月15日

GOVERNOR TAMOTSU KAWASE

Office: 7th Fl., Daiei Bldg., 1-11-20, Nishiki, Naka-ku, Nagoya, Japan 460 Tel. (052) 211-4415

国際ロータリー第260地区 ガバナー 川瀬 保

事務所 〒460 名古屋市中区錦1-11-20 大永ビル7階 電話(052) 211-4415



“Let Service Light The Way”

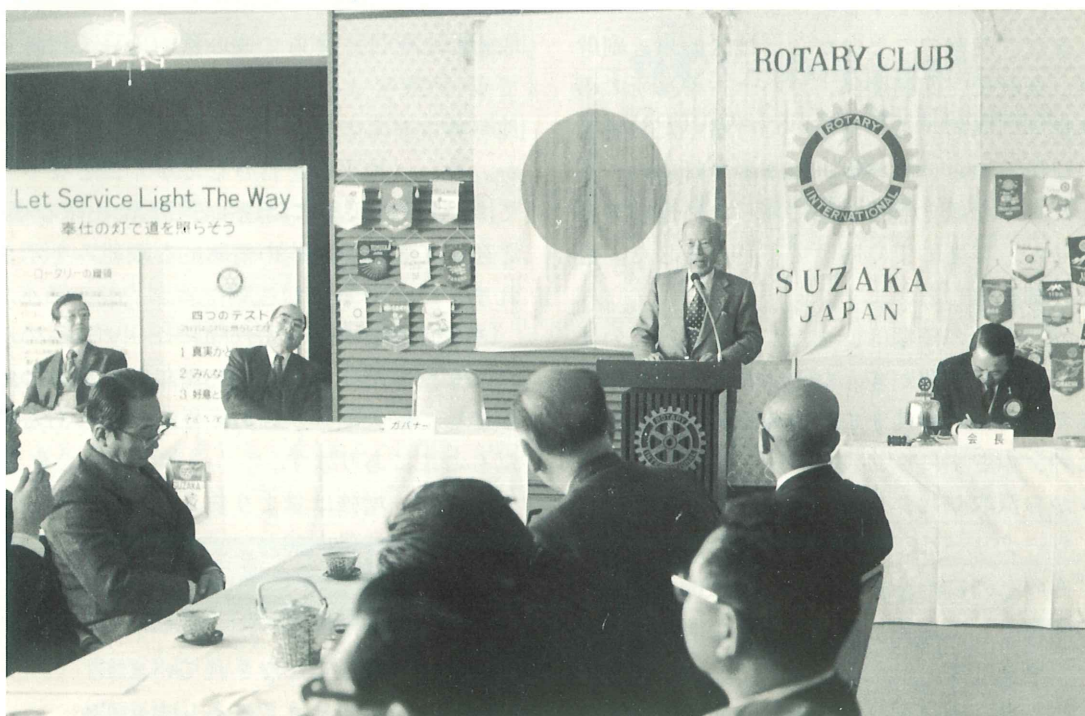
奉仕の灯で道を照らそう



第260地区各ロータリークラブ会長、幹事殿

★ 2月29日 公式訪問終る

*My Official Visits finished on the
special and extra day (Feb.29) at SUZAKA R.C.*



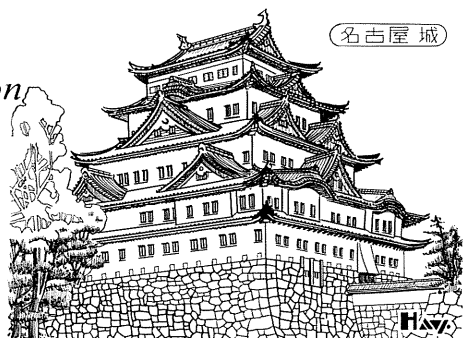
本年度最後の公式訪問、須坂R.C.

After my Official Visits

..... many thanks for the cooperation
of the persons concerned!

公式訪問を終えて — 御礼と御願いと —

第260地区ガバナー
川 瀬 保



わが地区内80クラブへの公式訪問を、昨年7月にたてた日程通りに全部終わりました。この間、分区代理さん、各クラブの会長、幹事さん、委員長さん、メンバーご一同並に事務局の皆さん等々から賜りました温かいご対応と誠実熱心なご勉強に対し衷心よりの感謝と敬意を表します。

また、パストガバナー並にガバナーノミニの皆様からは蔭になり日なたになったの筆舌につくせぬご高庇、ご指導を賜わり、おかげ様にてガバナーというたぐい稀れなる重責を兎にも角にも7分通り果たすことが出来ました。深く御礼を申し上げます。

また、内輪のことながら、地区幹事、副幹事、会計長、印刷関係、ガバナー事務所の事務長等の諸君からいただいた行届いたお世話がなかったら、ガバナーはまるで野中の一本松のような孤立無援状態に陥ったに違いありません。本当によく助けて下さいました。心より御礼申し上げます。

ガバナーの任期は、まだかなり残っていますが、公式訪問がすんだということで、ひとまづ腹一杯の御礼をご関係の皆様に応えたい、申さずにはおれない——この気持ちをどうかお汲取り賜わりたく御願ひ申し上げます。

ロータリーは、お互が“人のために思う”“人のためにつくす”という個人的な生き方の問題として出発しました。それがロータリーの原点です。

然し世の中は変わりつつあります。ポール・ハリスは“世の中は変化している。我々も変

化する時代と共にロータリーを変えていかなければならない”と述べています。

ボーマー会長は“各ロータリークラブはその自主性を固守しつつロータリーの視度を拡張し、国際性を高めていかなければならない。それによりクラブが単独でなし得る以上のことをロータリー全体として達成することが出来る”と述べています。

我々は、ロータリーの原点を忘れることなく、同時にその変遷ともともに取組んでいかねばならぬと思います。

ボーマー会長は“154ヵ国、85万という現勢力で3H運動のような果てしない奉仕活動に取り組むことは、まるで遠い遠い地平線に向けて歩いていくようなものだ。いくら歩いても、地平線はどんどん向うへいって了うではないか。然し、地平線を目ざして歩くことなくしては、遂に地平線に到達することは出来ない”と述べて3H運動への情熱的な取組みを示されました。

こうした意味からすれば、ロータリーの現状はまだまだ非力です。75周年記念事業の中核として拡大増強を強力に推進しつつある所以もここにありますが。

メンバー増強は量より質と言われてきましたが、今や“量も質も”です。ボーマー会長は“早く100万突破を”と繰返されました。目標のない人生は淋しいが、ロータリアンには素晴らしい目標設定がなされています。

みんなで頑張ろうではありませんか。



シカゴ名物、マリナーシティと呼ばれる1,360のバルコニーを持つ200フィートの高さのアパート。900台収容のガレージもある。

シカゴ国際大会に 参加しよう!!

*Let's attend at
Chicago Convention!*

オン・ツー・シカゴ委員長 北 野 幾 造
ガバナー ノ ミ ニ ー

今年1月28日現在、当地区内のシカゴ大会参加者総数は会員182名、家族92名、計274名と集計されました。そして1名も参加しないクラブが地区内に41クラブであります。参加者が着実に増えていることはまことに感謝にたえないところです。しかしR.I.本部やホストクラブから期待されている数はこの約2倍位であります。大会場にあてられるミシガン湖畔マコーミック・プレースの大会場ホールは主会場だけでも30,000名以上収容できる立派なものです。従って参加者が多過ぎて運営に支障を来すということはないようです。この世界最大の大会施設を利用して史上稀にみる企画と二段階方式のステージ構造による演出効果は、それ自体がショーとしての価値があるといえます。5月30日(金)ゴルフ大会(イタスカカントリー・クラブ)、5月31日(土)大会前夜祭、6月1日(日)夕方開幕式——シカゴ・ポップス・オーケストラ、ペニー・グッドマンとシックステット等による余興音楽の演奏、ミシガン湖上空の花火ショー等、6月2日(月)ロータリー75周年パレード、6月3日(火)ロータリアンのホーム・ホスピタリティ、6月4日(水)国際懇親晩餐会と会長主催ダンスパーティ等と会議以外のプログラムは楽しいいっぱいというところです。

25年目にしかめぐりあえない75周年記念シカゴ大会はわれわれロータリアンにとっては

二度と経験できない機会であるかもしれません。おそらくそのように思って参加されるロータリアンが多いことでしょう。そして意義ある出席と参加に新たな友情を誓い合うに違いありません。どなたかが言われたように「一瞬にして友情が生れる」ロータリアンにとって再び素晴らしい友人達を発見できると確信いたします。今回の大会はそのような場を提供するでしょう。

また世界最初のロータリークラブ、シカゴクラブやエバンストン(シカゴ市郊外)のR.I.本部を訪れる機会にも恵まれるわけです。ロータリーの原点に立ってその歴史を探ることは同時にロータリーを知ることなのです。オリジナリティを求めることはその意味で大変重要なことと思います。IBM社の社員教育は徹底して会社の社史を教え込むことだそうであります。発展している会社の歴史の中にその企業の創造性、オリジナリティの歩みがあるからにはほかならないからでしょう。とかく迷いがちなわれわれロータリアンにとって創始者の地に立って、その歩みを如実に知ることはロータリーの実証



的認識に大いに役立つと思うのです。

ポール・ハリスの創設したシカゴクラブの会員は当初ほぼ全員が実業界にてある程度の成功をおさめた人たちで、利益を目的としない職業の人たちの参加が認められたのはのちのことであるとか。社会的地位のいかんにかかわらずファースト・ネームで呼び合って楽しく親睦を深め合ったとか。クラブの活動はほぼ完全に社交的なものに限るという路線を守っていたが、ポールが会長となってから他都市に拡大を始めたり、社会奉仕の考え方を組み入れたりしはじめた。しかしシカゴでは当時、公衆便所問題というコミュニティ・ニーズと合致させながらはじめて社会奉仕が成

功を収めた点、更にはアメリカ国外ではカナダのウィニペグに最初の拡大を始めた等、興味ある歴史の経過を生きた教材として学ぶとすることができます。

さて一方せっかくシカゴを訪れるとしたら、全米第二位の大都会、今日のシカゴをみることを忘れてはならないでしょう。米国のハートランド(心臓地帯)の中心都市シカゴは農産物や工業製品の主要原産地で、シカゴ穀物取引所は世界最大の取引所であり、また超高層ビル、シアーズ・タワーは世界最高のビルです。世界の近代建築の首都として知られ、建築家の巨匠ルイス・ヘンリー・サリバンとフランク・ロイド・ライトは余りにも有名です。



白馬ではこの2月5日から3日間、第260地区の交換学生13名（アメリカ3名、カナダ6名、オーストラリア4名）を招き、柵池高原スキー場でスキー交歓会を行いました。交換学生のほかに付添の日本人学生やロータリアン、ホストファミリー、白馬クラブのメンバー合せて約30名が集い、にぎやかな交歓会となりました。

カナダやアメリカの学生達は、比較的雪には慣れており、大半はスキーの経験者で、特に男子学生などは、白馬ロータリアン屈指の各指導員も音を上げるほどの猛ハッスルぶりでした。それにくらべオーストラリアから来た女子学生4名は、日本に来たばかりのせいもあってか、冷めたい雪に少しとまどいを感じたようでした。それでも初めて見る雪に感激をし、帰る頃にはスキーもだいぶ上達しました。

第260地区交換学生 スキー交歓会

A ski camp for the exchange students was held in friendly atmosphere

久々に仲間と会え、存分に自国語（英語）を話せるのがうれしいのか、始終にぎやかにふるまい、夜も遅くまで楽しそうに踊ったり、歓談をしていました。

スキーの方は白馬クラブから北沢会長をはじめ、連日代るがわるに指導に来て、同伴者やロータリアンを交え楽しいスキー教室となりました。最後には白馬クラブより記念の切手帳が交換学生に贈られ、又学生よりお礼の言葉を日本語で受けたり、互いにサインをしたり、なごやかな親善風景が見られました。

当地区では、初めての試みでもあったので、受入側の白馬クラブも何かと心配をしましたが、地区青少年交換委員の方々のご苦労や、交換学生受入れクラブのご協力、そして白馬クラブあげての協力により、事なく成功裏に終えることが出来ました。

Summary of Action by
The Board of Directors

R.I.理事会報告 抄録



●1981年太平洋地域大会

理事会は、1981年(メルボルン)太平洋地域大会に関し、同地域大会の期日を1981年11月26～29日とすることを含み、その各面についての決定を行ないました。

●1981～82年度クラブ役員のための地区協議会の推奨プログラムと参加者の指定

1981～82年度クラブ役員のための地区協議会で使用される推奨プログラムが承認されました。このプログラムは世界社会奉仕と広報に特別な重点を置くものとなっています。そして、下記の1981～82年度クラブ役員諸氏が協議会への参加者として指定されました。次期クラブ会長、次期クラブ幹事、次期クラブ会計、クラブ奉仕担当の次期理事、職業奉仕、社会奉仕、及び国際奉仕の各部門担当の次期理事もしくは委員長、次期広報委員長、各地区ガバナーの決定により加えられるその他の次期委員長、過去2ヵ年間にクラブへ入会した新会員の諸氏です。

そして理事会は、地区協議会プログラムにできれば、ロータリー青少年指導者養成プログラムの推進を含めるべきであるという意見を表明いたしました。

●地区拡大カウンセラーのためのゼミナール・プログラム

理事会は下記の要領でもって、1980～81年度から実施される地区拡大カウンセラー・ゼミナール・プログラムを制定いたしました。

①各地区ガバナーは各地区にて、各カウンセラーの任期を3年とし、3年目の任期にある

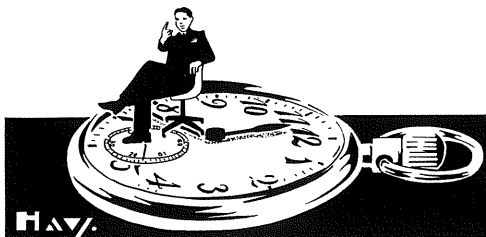
メンバーがその委員長となることとして、3人の拡大カウンセラーよりなるチームを任命するものとする(最初の年度は、任期1年の者を1名、任期2年の者を1名、任期3年の者を1名、任命し、以後、毎年任期3年のカウンセラーを1名任命する)。②毎年、できれば、20乃至30地区からの拡大カウンセラーを1ヵ所に集めて、拡大カウンセラーの一日ゼミナールを開催する。③ゼミナールは、各地域内、数ヵ所において実施し、拡大の各面に精通している中央事務局職員がモデレーターをつとめる。④ロータリー世界の全地区並びに全無地区、地域からの代表が参加するのに可能な数のゼミナールを開くことができるように毎年、国際ロータリーの予算にその経費を計上することとする。⑤各地区ガバナーは、地区拡大カウンセラーのチームの中から、カウンセラー1名をゼミナールへ参加させることとし、最初の年度の参加者は拡大カウンセラーの地区委員長、以後、任期2年目のカウンセラーが参加者となることを推奨する。⑥ゼミナールに参加する拡大カウンセラーの出席費は各自負担、もしくは、その地区が負担するものとする。



●保健、飢餓追放、人間性尊重プログラム

国際ロータリーの保健、飢餓追放、人間性尊重プログラムにつき、下記の通り、各種の決定事項が記録されました。

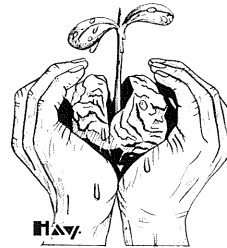
- 難民収容キャンプへロータリアン医師の篤志家を派遣する新事業計画が設定されました。
- 全世界からポリオの発生を根絶させ、その後遺症の軽減をはかること……を主要目標とすることが決定されました。
- 世界中のロータリアンが、難民救済活動の実務に当る「職業別奉仕チーム」員として参加されることが奨励されています。
- ロータリー・クラブ又は地区からのワクチン剤の寄付は現にそのワクチン剤を必要とし使用できる事業が実施されていることを条件として受理し、そのワクチン剤の質は世界保健機構の基準に合格するものであることとし、そのように寄付されたワクチン剤は世界保健機構の免疫事業にて使用できるものとするが決議されました。
- ロータリーが世界中の人々の飢餓を追放し、人道的、社会的開発に寄与できる方法を検討し、現在、事業が実施されている国以外の国々及び地域にて適用できる手続を考案するために3名以内のロータリアンよりなるチームが任命されます。
- 顕著な貢献をされたロータリアンでない方に対しては、その功績を表彰して、保健、飢餓追放、人間性尊重のバナー、又は楯を贈呈することができることになりました。



●インターアクトとローターアクトの年次評価

理事会は、各ローターアクト・クラブが各自のクラブ名のもとに「(クラブ名)ロータリー・クラブ提唱」と表記することを奨励し、ロータリー・クラブのローターアクト委員会

は、各ローターアクト・クラブがローターアクト定款の許す範囲内で、独立独行の能力を伸ばすように奨励することを決議いたしました。また、ロータリー・クラブはローターアクト委員会とインターアクト委員会を別々に任命し、混合させないことが奨励されています。理事会は、地区ローターアクト大会の組織計画及び推奨大会プログラム案を考案中です。尚、地区ローターアクト大会準備委員会にはロータリアンが出席し、その地区ローターアクト大会には、地区ガバナー及び地区ローターアクト委員長が出席することになっています。



●インターアクト定款及びローターアクト定款の一部修正

理事会は、標準インターアクト・クラブ定款第4条第1節を次のように（下線がある箇所）修正しました。「本クラブの会員となるには、善良な性格と指導者の素質とを持ち、(イ)学校関係のクラブでは、その地方の現行教育制度に基づき、大学進学直前の4ヵ年間に在学中の者で、学業及び課外活動で優秀な成績を実証した高校生であること。(ロ)地域社会を基盤としたクラブの場合は、その地方の現行教育制度に基づき、大学進学直前の4ヵ年間に在学中の高校生、或いは年令14才に到達した者であること。」また、標準ローターアクト・クラブ定款第4条第1節の最後の文節を次のように修正いたしました。「最低及び最高年令の制限は大学課程在学中の者には適用されないものとする。」

●公式名簿に関連して

各ロータリー・クラブが来訪ロータリアンの夫人もクラブ例会に歓迎することを奨励しています。

●地区ローターアクト代表

ローターアクトに関する方針声明の第19項(イ)のうち、最後のセンテンスの前に、次のセンテンスが加えられました。「ローターアクト代表に選挙される資格として、代表はローターアクト・クラブの会長又は幹事をつとめたことがある者でなければならない。」

●クラブ委員会組織における青少年奉仕委員長の役割

理事会は、クラブの青少年奉仕委員長の役割を明確にする方法の一つとして、ロータリー・クラブ委員会組織を改定いたしました。この改定により、主要部門の委員会（社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕）のもとに置かれる各小委員会（国際青少年計画、インターアクト、ローターアクト、青少年、青少年交換など）の配属は、各クラブの裁量によって、それを決めることができることになりました。

●青少年への奉仕

理事会は、「各ロータリアンは青少年の模範」の標語を使用し、表記することを改めて強調することを決議いたしました。次期地区ガバナーは、青少年活動週間を推進するためのクラブでの講演、ガバナー月信にこの標語を使うことが奨励されます。

更に理事会は、各クラブが、①クラブの会報、殊に青少年活動週間中の会報、クラブの青少年活動が報告される時に、②青少年を表彰するに当っては報道関係者を招待して、③殊に青少年活動週間、ロータリー創立記念週間に、ロータリーが地域社会の青少年に対し、どんな奉仕を行なっているかを発表するに当って、この標語を使用することを奨励しております。

各地区ガバナーは、①青少年活動週間中に青少年への奉仕活動を計画し、強調し、②この特別週間の全期間を通して、青少年への奉仕を強調し、③特別週間中には、全クラブ会員が1人残らず、インターアクト、ローターアクト、ロータリーがスポンサーするスカウト隊などの会合に出席することを要請し、④

青少年交換、研究グループ交換、ロータリー財団奨学金などのロータリーがスポンサーする青少年への奉仕プログラムに参加した人達の特別な同窓会を開催し、⑤各クラブ会員は特別週間中に、職業奉仕と青少年奉仕を合わせ处世の道を示し見せる方法として、各自の職場に青少年を招待することを要請して、地区内の全クラブが青少年活動週間を記念して特別行事の実践に当るように奨励されることが要望されております。理事会は、全ロータリアンが青少年活動に参加することを奨励し、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、スカウト活動、ボーイス・クラブ、YMCAプログラム、勤労少年などの青少年の活動に活躍するクラブ会員を各自のクラブで労をねぎらい表彰することを推奨しています。

●青少年交換活動における身心障害者の参加

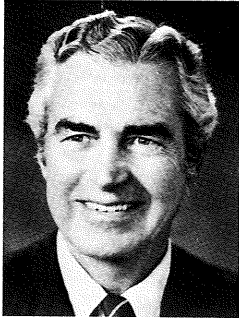
理事会は、ロータリー・クラブ並びに地区が、青少年交換活動に肢体不自由な青少年を加えること、また身心障害者の特別キャンプ施設の設置を推進させることを奨励いたしております。

災害の急報 *Notice of Disaster*

南アフリカ東岸のリユニオン島を強襲し甚大な被害をもたらしたサイクロンは、22人の死者を出し、7,000人の人々から住居を奪い去りました。金銭的援助を緊急に必要としておりますので、Jacques Loupy, President of the Rotary Club of Saint — Denis, BP 128, 14 Rue Rontaunay, 97464, St.Denis, Reunion 宛に直接ご送金願います。尚、救援物資は国際赤十字社など、既設の救援機関を通じてお送りになって下さい。

事務総長書翰抜粋

FROM THE GENERAL SECRETARY'S LETTER



1981～82年度会長に スタンレーE. マッキヤフリー氏が 指名さる

*Mr. STANLEY E. McCAFFREY
of U.S.A. was appointed as a
R.I. President Nominee for
the 1981-82 year.*

1980年1月14日の会長指名委員会において米国、カリフォルニア州、ストックトン・ロータリー・クラブ会員、スタンレーE.マッキヤフリー氏が1981～82年度国際ロータリー会長に指名されました。マッキヤフリー博士は、米国、カリフォルニア州、ストックトンのパシフィック大学の学長です。国際ロータリーでは1970～71年度第一副会長をつとめ、第522地区のバスターガバナーで、現在は1981年（サンパウロ）大会委員会の委員長をしておられます。1980年3月15日までに、ロータリー・クラブから他の候補者の指名がなければ、1980年6月1～5日、シカゴで開かれる創立75周年記念国際大会において、マッキヤフリー博士が正式に選挙されることになります。

●良いクラブ会報は関心を高め出席奨励に役立つ

どうすれば、各クラブの会報を向上させるために編集者各位に力添えをすることができのでしょうか？まず、全クラブが定期的に、それぞれのクラブ会報を評価し直すことを提案して下さい。もしも、その体裁だけが問題である場合には、レイアウトを改め、或いは活字を変えるだけで良いかも知れません。そのような場合には、大抵、そのクラブ内に助言できる会員が居るものです。次に、内容が問題点である場合には、編集者への推奨掲載事項を記載して、R.I.ニュースと共に送付さ

れる「情報抄録」の活用を編集者に勧めて下さい。そして第三には、クラブの理事会や委員会の活動、各会員の個人的なニュース、例会プログラムの要約、ロータリー情報の記事、地区ニュースなども会報に掲載することを奨励して下さい。クラブ会報は、各地域社会の新聞のようにロータリー・クラブにとっての基本的要素であることを編集者に周知させて下さい。貴地区大会で各クラブの会報を展示することは貴地区内全クラブの会報を充実、向上させるアイディアを示し見せることになります。

●研究グループ交換補助金の申請締切日

1980～82年度、研究グループ交換補助金の申請書を中央事務局へ提出する締切日は1980年4月1日です。この補助金は1980～81年度と1981～82年度の2ヵ年にわたるものです。本プログラムに参加するためには、地区内の3分の2以上のクラブの賛成を必要とします。各クラブの賛成は地区大会又は地区協議会での投票、もしくは郵便投票で求めることができます。

●ロータリー発祥の事務所が復元されました

来るシカゴ国際大会(1980年6月1～5日)に参加される方々を待ち受けている特別なボーナスの一つは、1905年(明治38年)2月23日の晩、ポール・ハリス、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、“ガス”・ローアの4人が会合した小さな事務所への訪問です。シカゴの北ディアボーン街のユニティー・ビル第711号室で開かれた、この会合においてロータリーが発祥したのであります。シカゴ・ロータリー・クラブは、そのロータリーが誕生した事務所の借用契約を結び、1905年の当時の室内の模様を綿密に調査、研究し、復元させる2月23日の記念日に公開する予定です。

● 3-Hプログラム補助金への寄付、3百万ドルを突破

1979年12月31日現在、保健、飢餓追放、人間性尊重（3-H）プログラムのための補助金に対する寄付は、3,992のクラブより、U.S. \$3,176,826.18に達しました。就いては貴地区内全クラブに対し寄付を奨励し、この創立75周年を記念する年度中に、米貨1,200万ドルの目標を達成させるためのお力添えをお願いいたします。

● 地区協議会への参加奨励

地区協議会は、次年度のクラブ・リーダーを参集して、任務遂行についての指示やインフォメーションを与え、激励するための会合です。

● 委任状による代理者の派遣

貴地区内の全クラブに対し、1980年6月1～5日、米国イリノイ州、シカゴで開催される国際大会へ代表を出席させるようにご要請願います。しかしながら、どうしてもクラブから代表を国際大会へ出席させることができ

ない場合には、そのクラブは国際ロータリー細則（第7条）の規定により、そのクラブが有する票数の投票権を行使する委任状による代理者又は補欠者を指名することができます。委任状による代理者の権限は、クラブ会長及び幹事が署名して渡された証明書に示されている通りで、委任状による代理者は、そのクラブが所属する地区内クラブの正会員、シニア・アクティブ会員、パストサービス会員ならば誰でも構いません。無地区クラブは世界中どのクラブの会員にでも代理者を指名することができます。

● ロータリー財団ニュース

1979年7月1日から12月31日までの半期におけるロータリー財団への寄付は昨年の同期に比し16.8パーセント増しのU.S. \$5,738,889に達します。尚、この期間中に新しくポール・ハリス・フェローになられた方は、3,479名、ポール・ハリス、準フェローになられた方は4,100名で、それぞれ、12パーセントと6パーセントの増加となっております。

大平首相から国際ロータリー75周年に当って R.I.中央事務局へ祝辞

Congratulations from Premier Ohira to R.I. in commemoration of the 75th Anniversary

このたび大平内閣総理大臣より下記のとおり祝辞が寄せられた旨、R.I.中央事務局より通知がありましたので会員皆様にご紹介いたします。

このたびロータリー創立75周年を迎えられるにあたり、全世界のロータリーの皆様からのお祝いを申し上げます。

ロータリーは1905年に僅か4名の会員で発足されましたが、会員の真剣な努力により現在では154ヵ国にわたって85万名の会員を擁する大きな組織に発展してこられました。今日、ロータリーは志を同じくする各国の仲間との理解と友情を深めながら世界平和に大きく貢献しておられます。

日本のロータリークラブは1920年にその加盟を承認されて以来、日本の社会に着実に根を拡げ、今日ではその会員数は8万名にも達しております。そしてロータリー精神に沿っ

た大学生に対する奨学制度の実施、外国ロータリークラブとの交流、難民援助などの諸活動は高い評価を得ているところであります。

現代の世界においては多くの分野で様々な難しい問題が生じております。私はこのような状況の下においてロータリーが説く奉仕の精神がより一層必要となってくるものと考えております。

ロータリーが一層繁栄されることを念じ、会員の皆様の健康をお祈り申し上げます。



内閣総理大臣

大平 正 芳

75周年各クラブ記念事業(その3)

Each club's activities in commemoration of the 75th Anniversary

前号にて月信掲載はメ切りとお知らせしましたが、行違いにご報告のクラブがありましたので下記のとおりその概要を列記します。(到着順)なお、ご依頼しましたように“奉仕の実践”が大切ですから、今後共意義ある事業を企画、推進されるようお願い致します。現に既にご報告しましたクラブの中で更に追加事業をガバナー事務所まで報告を頂いているクラブもあります。洵に心強く存じますし、各クラブのご厚志に対し改めて深謝致します。

分区	R.C.	事業概要
三河第2	刈谷	530運動発足推進、新聞にもPRされた。ビニール袋2万枚寄贈、会員も奉仕、補助金20万円寄付。財団特別寄付。記念例会にはオイスカ研修生10数名招待、国際親善。
	碧南	退職物資供出チャリティーバザー開催、海洋少年団120名の実地訓練として即売に当り、収入金は海洋少年団激励金として青少年の育成に活用。新川町、碧南駅に植樹緑化と水銀灯寄贈。講演会、親睦会実施。新聞PR。
東北信	佐久	区域内国鉄4駅に悪書追放箱寄贈。市立図書館にロータリー書架寄贈。優良従業員表彰。域内中学生全員約3,000名及び記念週間中の図書館利用者(約1,000名の見込)に75周年記念のしおりを配布。
尾張第1	名古屋和合	名古屋市内11R.C.共同事業共催。ボーイスカウト野営テント3団に各1張寄贈。天白警察署に交通安全器具及び事務器贈呈。1市2町ヘシンボルの樹木寄贈。その他奉仕活動に特に75因み力点を置く(例えば増強は7.5%とか)。

Report on I.G.F.

I.G.F.報告 尾張第1分区

日時 2月24日(日) 9:10~16:00

場所 名古屋駅前 名古屋都ホテル

ホスト 名古屋北クラブ(会長 西野春男)

■参加者

ガバナー 川瀬 保
 フォーラムリーダー 余語栄三
 アドバイザー 近藤友右衛門
 水野民也
 パネラー 岩田嘉七(社会奉仕)
 盛田和昭(職業奉仕)
 下郷彌太郎(国際奉仕)
 鈴木亮三(クラブ奉仕)

尾張第2分区代理 鈴木 茂

地区幹事 福山 巧

出席義務者(総参加人員356名)

■討議の方式

予め議題発表、参加者合同討議方式

■部門別討議内容

- 社会奉仕部門：合同事業の再検討、資金予算の増大
- 職業奉仕部門：ロータリーに於ける職業奉仕の意義、委員会の任務



- 国際奉仕部門：世界社会奉仕の活動現況、国際奉仕部門に於ける75周

年記念事業の現況

○クラブ奉仕部門：自主的で気楽なクラブ及び例会のためのプログラムとマナー、クラブ及び会員増強の方法と現況

自主的なクラブの運営とロータリアンのビ

ヘイビヤ等について、川瀬ガバナーの基調挨拶に始まり、参加者全員による討議が行われ、活発な質疑応答と有益な実情報告があり、概ね所期の効果を取めた。参加者皆様の御協力を深謝します。

■概況

第260地区 財団法人ロータリー米山記念奨学会寄付金納入明細表

List of Contributions to the Yoneyama Memorial Fund

昭和54年12月31日現在(単位：円)

クラブ名	年 額 1名当り	今期入金分	過 去 累 計	クラブ名	年 額 1名当り	今期入金分	過 去 累 計
あ ま	2,000	173,000	1,703,750	名古屋守山	3,000	114,000	1,838,800
渥 美	2,000	148,000	1,021,600	名 古 屋 中	2,000	185,000	2,279,000
安 城	2,000	67,000	1,404,700	名 古 屋 北	2,000	702,000	4,977,350
尾 西	2,000	99,000	1,129,500	名 古 屋 南	2,000	117,000	2,847,000
蒲 郡	1,500	51,750	1,704,750	名古屋東南	2,000	144,500	1,361,850
白 馬	1,500	24,750	240,750	名 古 屋 西	2,000	436,000	3,846,950
半 田	1,500	56,250	1,395,700	名古屋和合	2,000	62,000	978,500
碧 南	1,500	51,000	1,442,750	中 野	1,500	38,250	421,250
一 宮	1,500	217,500	3,225,914	西 尾	1,500	735,500	3,009,150
一 宮 北	1,500	156,250	1,739,100	西 春 日 井	2,000	257,000	1,487,671
飯 田	1,500	51,000	1,838,650	岡 谷	2,000	63,000	1,999,900
飯 田 南	1,500	51,750	858,250	岡 崎	1,500	392,000	3,372,500
飯 島	2,000	34,000	584,200	岡 崎 東	1,500	201,885	1,478,966
伊 那	2,000	66,000	1,197,500	岡 崎 南	1,500	792,500	2,675,900
稲 沢	2,000	754,000	1,783,450	奥 三 河	1,500	36,750	563,000
犬 山	2,000	66,000	1,468,364	大 町	1,500	153,188	1,168,198
一 色	1,500	74,250	793,950	尾 張 旭	2,000	46,000	829,387
岩 倉		324,000	324,000	佐 久	1,500	175,500	319,000
東 知 多	1,500	173,231	1,018,459	瀬 戸	1,500	151,750	1,631,179
富 士 見	1,000	15,500	280,250	瀬 戸 北	1,500	28,500	150,250
刈 谷	1,500	56,250	1,191,750	新 城	2,000	39,000	605,950
軽 井 沢	3,000	52,500	1,049,250	須 坂	1,000	116,500	116,500
春 日 井	2,000	76,000	1,523,950	諏 訪	2,500	1,750	1,057,900
木 曾	1,500	33,750	616,000	高 浜	2,000	45,000	891,034
駒 ケ 根	1,500	45,000	1,158,050	田 原	1,500	43,500	945,050
小 牧	2,000	205,000	1,787,950	辰 野	1,500	154,500	1,460,900
小 諸	1,500	803,500	2,282,300	戸倉上山田	2,000	33,000	473,900
江 南	1,500	243,500	1,530,050	常 滑	2,000	55,000	1,663,950
丸 子	1,500	26,250	538,650	東 海	3,000	390,822	1,133,896
松 本	1,000	36,500	1,557,650	豊 橋	1,500	188,750	8,035,950
松 本 南	2,000	81,000	1,620,500	豊 橋 北	1,500	102,750	2,628,650
松 本 西 南	2,000	49,000	914,000	豊 橋 南	1,500	411,250	2,582,800
松 川	1,500	31,500	490,150	豊 川	1,500	146,000	1,192,000
南 佐 久	2,000	95,000	238,250	豊 田	1,500	66,750	1,681,900
箕 輪	1,500	72,500	223,000	豊 田 西	1,500	42,000	650,000
長 野	3,000	120,000	1,614,400	津 島	2,000	72,000	1,656,500
長 野 東	1,500	52,500	930,800	上 田	2,000	50,000	1,139,600
名 古 屋	2,000	214,000	5,008,900	上 田 東	2,000	37,000	185,000
名 古 屋 東	1,500	126,000	2,375,200	年次大会事務局			500,000
名 古 屋 名 東	2,000	40,000	478,000	そ の 他			141,000
名 古 屋 空港	2,000	544,000	2,043,250				
名 古 屋 港	2,000	308,000	2,824,750				
				計		12,793,876	123,130,668

地区ニュース DISTRICT NEWS

■第5回地区諮問委員会開催

日時：1980年2月2日(土) 12:00～14:30

会場：名鉄グランドホテル

出席：神野、近藤、滝沢、佐藤、安野、原、
鮎谷、山田、森、田辺、各P.G.、
川瀬G.、北野G.N.、福山D.S.

議事：

1. ガバナー公式訪問の報告
2. I.G.F.の開催とアドバイザー委嘱について
3. 神戸におけるガバナー連絡会議及び研究会報告
4. G.S.E.チーム派遣について
5. 地区組織について
6. 地区予算について
7. R.I.75周年記念事業及びクラブ表彰について
8. オン・ツー・シカゴ積極参加推進について
9. その他
10. 次回開催日について（3月14日）

辰野・箕輪・伊那3クラブ合同研修会

3クラブ合同の新入会員講習会は、2月3日、伊那クラブがホストで別館だるまで45名の会員により開催されました。講師は各クラブの情報委員長が当り、オブザーバーとして分区代理中山修一君、分区代理ノミニ池上英雄君をおねがいしました。参加者全員の自己紹介のあと、クラブ奉仕—ロータリーの入会を歓迎 職業奉仕—今度はあなたの働く番だ 社会奉仕—新しい視点に立って 国際奉仕—地球上の同乗者としてのスライドが約1時間程行なわれました。その後全体会議に入り「ロータリーについて」木下斉君（伊那）「出席について」三沢茂雄君（辰野）「私はロータリーをこの様に考える」久保田元次君（箕輪）の意見発表があり、続いて質疑に入

りました。経験豊かな各リーダーにより短い時間でしたが有意義な研修会を持つことが出来ました。特に「入会前と入会後のロータリーの違いについて感じた事」を述べて下さいと提案があり、●例会に出席出来るかどうか大変心配でしたが、なんとか時間のやりくりが出来、出席を続けている。●真面目な会だと感じた。●卓話が勉強になり大変ありがたい。●例会日になると奥さんがきびしく出席する様に注意してくれる。●知人が来てうれしい。●出席がきびしいと感じた。●お寺の住職を推薦したが急がしい職務なので心配でしたが、出れば出られるものだと本人は頑張っ出席にはげんでいられる。大いに見習いたいと思う。●卓話で各人の仕事の話をきかせてほしいと思う。……

皆さんそれぞれ早くクラブにとけ込もうと努力している様に感じました。新入会員とはいえ、地域的に近いので、知り合っている人が多く、和気藹々の中に講習会をおえる事が出来ました。今後も是非続けてほしいと思いました。



研修会後の交歓懇親会

■米山奨学生との懇談会を開催

去る2月3日(日)、名古屋市千種区清住町コンプル(株)会議室にて、地区米山奨学会委員と米山奨学生との懇談会、スキヤキを自分達で作りながら歓談しました。

出席者は小森地区委員(豊橋南)、サーベ・サイエド・カザンファ君(アフガニスタン、名大経、修士、スポンサーC.東知多)、シェブル・カマル君(エジプト、名大電、博士、スポンサーC.名古屋南)、陳美華君(台湾、名大農、修士、スポンサーC.名古屋東)、及び河合

地区委員長(名古屋北)の5名でした。

スキヤキの作り方を知らない者ばかりで、肉、野菜の調達やら、時の話題特にカザンファ君のアフガニスタン問題、イスラム教の話など、非常に楽しい懇談会でした。

また欠席者が多かったのは私が通知を出すのが少し遅れた事と風邪の人、韓国へ里帰りの人、転居して手紙の受取り遅れの人などがありましたが、それぞれその理由と連絡は貰いました。

今回は5月位に新しい奨学生と継続の奨学生との懇談会を同様の形で催したいと思っています。(河合記)

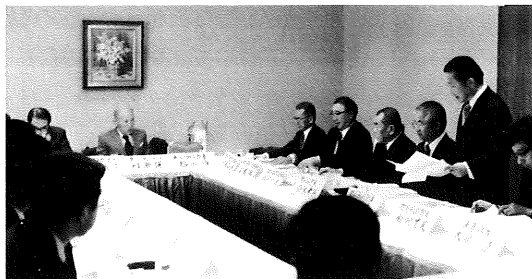
R.I.75周年記念

中部経済新聞座談会

中部経済新聞社と当地区75周年委員会の主催で、ロータリー75周年記念座談会が開催された。その内容は去る2月23日付中部経済新聞紙上に詳しいのでここでは省略しますが、同紙をご覧にならなかった方々のために関係先にお渡ししています。

なお出席者は鮎谷、山田、田辺各P.G.、川瀬G.、北野G.N.、長尾中部経済新聞社長(名古屋西R.C.)、水野委員長でした。

(注)前記中部経済新聞紙は、ロータリー関係、各クラブ、その他関係先の内、未渡しの向きには本月信に同封させて頂きました。



中部経済新聞社のR.I.75周年記念座談会

■地区協実行委員会開催

2月9日午前11時30分より名鉄グランドホテルにて川瀬ガバナー、福山地区幹事、北野ガバナーノミニー、鈴木次年度地区幹事を囲んでホストクラブ刈谷R.C.より加藤会長、黒

田幹事、広根、石川副委員長、鈴木幹事、井田、稲垣副幹事ら実行委メンバー17名、計21名出席して開催。刈谷より提出された22頁にわたる実行計画書、並びに13項目の質問事項に基づき打合せ議事に入る。午前中のプログラムの中で『ガバナーエレクトのことば』に充分時間を掛け約50分とし、細部についてはホストクラブ実行委に一任され、概要下記の如く決定され、3月の諮問委員会に資料を提出する。

6月21日(土) 名鉄グランドホテルにて

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 諮問委員会 | 13:30~15:40 |
| 2. リーダー、アドバイザー会議 | 16:00~18:00 |
| 3. 懇親会 | 18:00~20:00 |

6月22日(日) 地区協議会

登 録 8:30~9:30

本会議及び分科会 9:30~15:40

場 所 日本電装(株) 刈谷市昭和町



75周年記念に特に力を入れる地区協委員会

半田南クラブ創立総会

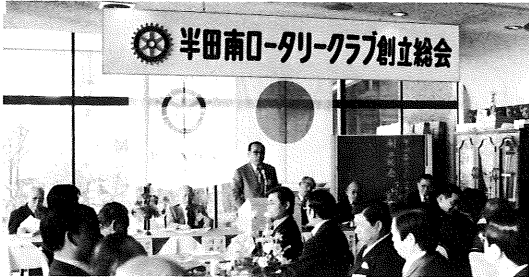
早春2月12日、半田R.C.永年の懸案の新クラブが半田南R.C.として、ロータリー75周年、半田R.C.創立30周年記念事業として、めでたく誕生いたしました。

当日、レストラン白山に於て第260地区川瀬保ガバナー始め来賓各位の臨席をいただき、小栗利三郎特別代表の点鐘に始まり厳粛に行われました。

創立経過の報告、創立会員の紹介があり、議事の議決、又、川瀬ガバナー始め来賓各位より激励と今後の発展を期待する旨のあたたかい祝辞が数多く寄せられました。

吉田守新クラブ会長が地域社会に対する奉仕の実践について力強い決意をのべ、ガバナ

ーを始め各位の御指導と加えてスポンサークラブである半田R.C.の暖い友情をもって今後を見守って戴くようにと御願いの言葉が述べられた。閉会の挨拶につづき、田辺直前ガバナーの音頭で乾杯をして前途を祝って目出たく終了致しました。



春立って産声高く半田南C.創立総会

■新生の半田南クラブ認証さる

去る2月12日、創立総会を開催しました「半田南R.C.」はこの程R.I.本部より2月25日付けで認証された旨来電がありました。新クラブに心からお祝いをいたします。

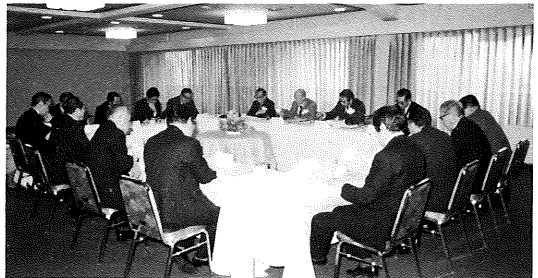
第一回地区大会企画委員会

日時 55年2月13日(水) 11:30~16:00

場所 長野国際会館(4F)

川瀬ガバナー委員長以下各委員、当日早朝より降りしきる雪の中、遠路よりご出席頂き又、北野ノミニ委員を始め、ポスト長野東クラブ委員全員が参集して、企画状況並びに会場等の説明を聞き、意見の交換を行なった。特に昨年地区大会をホストされた豊橋北クラ

ブの佐藤大会委員長から大会の種々説明と苦勞等の貴重なご意見を聞き一同熱意あふれる意見の交換があった。特に開会式と部門別協議会との問題、物価高騰の折登録料や費用の問題、持参頂く記念品、袋等、種々熱のこもった貴重な意見の交換を会議時間を延長して行なわれた。又、大会の一つの鍵と云われる記念講演者については、次回に決定することとし、次回4月22日に委員会開催を定め終了した。その後会場等を見て頂き、大変貴重なそして忙しい一日でした。



熱のこもった地区大会企画委員会

伊那ローターアクトクラブ発会式

伊那R.A.C.(中山信会長・会員39人)が誕生、2月22日に第1回例会を兼ねて発会式が行われた。提唱クラブの伊那R.C.がR.I.創立75周年と同クラブ創立20周年の記念事業の一つとして、昨年から結成の準備を進めてきたもので、260地区では9番目。

発会式には川瀬保ガバナーもかけつけ「みなさんに会ってまず感じたことは、全員の目

オーストラリアから留学生

英語の時間は臨時助手



身ぶり手ぶり語に人気

豊橋市の県立看護学校に在る

— 交換学生来日 —

去る1月12日に1年の滞在を終えた3名の学生が濠州へ帰国したが、1月20日には下記4名の濠州学生が来日、それぞれ無事ホストクラブの受入手続き完了。

Miss Colleen M.Higgins(D.960 Hamilton R.C.) ホスト 岡崎東

Miss Cathrine L.Hayward(D.963 Roma R.C.) " 東海

Miss Cynchia M.Clements(D.983 Spring Bay R.C.) " 木曾

Miss Jane R.Manusu(D.975 Kings Cross R.C.) " 松本南

なお東海R.C.受入れのキャサリンさんは中部読売新聞にその記事が写真の通り掲載された。

つきがすばらしいことだ。気迫のあるよい顔つきをしている。当地区ではまだローターアクトの実績は少ないが、これから友情の輪が広がってゆくと思う」とお祝いのことを贈った。

引続いての初例会では「最初の社会奉仕として、まず全員が献血をしたい。ご協力を」(社会奉仕委員会)「年間を通じて古切手の収集運動を続けます。例会ごとには持寄って」(国際奉仕委員会)とか「3月にスキーの集いを」(親睦委員会)など若々しく意欲的な提案がだされていた。



清新の気みなぎる伊那R.A.C.発足

■ガバナーノミニー事務所ご案内

下記のとおり開設されていますのでご了承下さい。

長野市県町524(〒380) 北野建設株式会社内
R.I.第260地区ガバナーノミニー事務所

(電話) 0262-35-1015(直通) 0262-33-5111(会社内線25)

0262-34-5515(ノミニー自宅)

■R.I.中央事務局抽冬氏についてお知らせ

何かにつけて大変お世話になっていますR.I.本部の抽冬忠氏の職名は今後は

SERVICE SUPERVISOR (奉仕課長)

と呼ばれることになりました由連絡がありました。引続きご面倒を見て下さいますので、遠慮なくご相談をとのことです。よろしくお願いします。

米山奨学会特別寄付報告

Contribution to Yoneyama Memorial Fund

1月4日	岡崎東R.C.(個人扱1名)	10,000円
"	岡崎東R.C.	6,814円
4~22日	岡崎R.C.(個人扱5名)	57,000円

1月5日	尾張旭R.C.	30,000円
1月12日	西尾R.C.(個人扱17名)	340,000円
1月16日	上田R.C.	13,250円
"	上田東R.C.	10,500円
1月18日	原勇次郎(名古屋空港)米山功労者	270,000円
"	辰野R.C.(個人扱2名)	40,000円
1月19日	高浜R.C.	33,151円
1月23日	富士見R.C.(個人扱1名)	100,000円
1月24日	一宮R.C.(個人扱1名)	30,000円

おめでとうございます
ポール・ハリス・フェロー
New Paul Harris Fellows

12月31日	宮本三郎君(長野東)	藤縄靖君(長野東)
	夏目幸一郎君(長野東)	塩入治右衛門君(長野東)
	塚田和男君(長野東)	渡辺福雄君(名古屋南)
	陶山幸七君(豊川)	石川辰郎君(松本)
	田中弘美君(松本)	上野紘志君(松本)
	久具昭夫君(豊川)	前田善君(小諸)
	松井兵右衛門君(小諸)	依田茂君(小諸)
	茂原哲君(小諸)	小山正邦君(小諸)
	栗林実君(小諸)	河合重作君(田原)

1月25日 原園子様(名古屋空港・故原勇次郎君夫人)

2月5日 山田善一君(諏訪) 清水重雄君(諏訪)



3H運動寄付金報告 Contribution to 3H Movement

今月は締切日までに通知がありませんでした。勿論、当地区は既に大半のクラブがこのプロジェクトに早速ご寄付願っていますが、本月信末尾にお知らせしましたように、この募金は6月末で終了します。ご計画の向きで、送金未済のクラブは出来るだけ早目にお手配下さい。今年度月信最終号(6月30日付)は年度総決算号となりますので、編集締切日6月20日頃までに在日代行者受領証が当事務局に到着すると掲載集計ができます。

訃報 Obituary

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

1月7日	保科国泰殿(松本南)
2月1日	神谷仁兵殿(安城)

55年2月度 分區別会員数及び出席率

Attendance Report of February 1980

昭和55年2月29日現在

分 区	クラブ名	順 位	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 数 月	増 減
尾 張 第 一 分 区	半田	27	58	99.51	4	75	-17
	東知多	48	43	98.17	4	41	+2
	名古屋東	71	224	94.95	4	223	+1
	名古屋北	38	89	98.86	3	89	0
	名古屋東	1	103	100.00	5	103	0
	名古屋南	1	43	100.00	4	43	0
	名古屋港	42	115	98.60	4	113	+2
	名古屋瑞穂	20	112	99.81	5	110	+2
	名古屋守山	43	34	98.53	4	—	+34
	名古屋西	46	76	98.28	4	75	+1
	名古屋中	38	93	98.86	3	92	+1
	名古屋南	24	138	99.63	4	138	0
	名古屋和合	29	82	99.39	4	81	+1
	名古屋東	1	66	100.00	4	66	0
	海常	59	45	96.67	4	44	+1
	常滑	56	58	97.22	5	58	0
16 C			1,379	98.65		1,351	+28
尾 張 第 二 分 区	あま	1	72	100.00	3	73	-1
	尾西	30	52	99.33	3	51	+1
	宮北	22	89	99.72	4	89	0
	宮北	37	75	98.91	5	75	0
	稲沢	1	53	100.00	4	52	+1
	犬山	1	70	100.00	4	70	0
	岩倉	1	33	100.00	4	31	+2
	春日井	1	78	100.00	5	78	0
	小牧	51	58	97.80	4	56	+2
	江古	34	60	99.17	4	60	0
	名古屋空	54	63	97.42	3	59	+4
	西春日井	33	70	99.28	4	71	-1
	尾張旭	1	46	100.00	5	45	+1
	瀬戸北	32	70	99.29	4	70	0
	瀬戸北	40	42	98.81	4	42	0
	津島	45	71	98.36	5	70	+1
16 C			1,002	99.25		992	+10
三 河 第 一 分 区	渥美	80	49	87.75	4	49	0
	蒲郡	50	68	97.89	4	69	-1
	奥三河	76	47	94.15	4	47	0
	新城	58	43	96.75	5	42	+1
	田原	49	60	98.00	5	59	+1
	豊橋北	36	105	99.12	4	104	+1
	豊橋南	21	98	99.74	4	98	0
	豊橋南	1	66	100.00	3	66	0
	豊橋南	26	67	99.60	4	67	0
9 C			603	97.00		601	+2
三 河 第 二 分 区	安城	44	67	98.51	5	68	-1
	城南	24	67	99.63	4	67	0
	一色	73	53	94.81	4	53	0
	刈谷	1	77	100.00	3	74	+3
	西尾	47	73	98.20	4	73	0
	岡崎東	23	85	99.68	4	85	0
	岡崎南	1	55	100.00	4	55	0
	岡崎南	52	69	97.68	5	69	0
	高浜	59	47	96.67	4	46	+1
	豊田西	34	91	99.17	4	91	0
11 C			740	98.34		737	+3

分 区	クラブ名	順 位	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 数 月	増 減
東 北 信 分 区	軽井沢	1	39	100.00	3	38	+1
	小丸	62	58	96.55	5	58	0
	南佐久	79	33	88.62	4	33	0
	長野	53	32	97.58	4	32	0
	中野	65	80	95.85	4	80	0
	佐久	66	70	95.79	4	71	-1
	須坂	68	47	95.22	4	50	-3
	戸倉上田	81	32	86.72	4	32	0
	上田東	74	30	94.80	5	32	-2
	上田東	82	41	85.96	5	41	0
	上田東	72	52	94.94	3	53	-1
	上田東	1	42	100.00	4	42	0
12 C			556	94.33		562	-6
南 信 第 一 分 区	富士見	59	30	96.67	4	30	0
	白馬	75	37	94.73	4	34	+3
	松本	77	47	92.43	4	47	0
	松本	57	72	96.87	4	73	-1
	松本	1	82	100.00	3	83	-1
	松本	64	41	96.34	4	41	0
	岡谷	69	64	95.13	4	65	-1
	大町	67	63	95.24	4	63	0
	塩尻	1	27	100.00	5	25	+2
	諏訪	70	60	95.00	5	61	-1
10 C			523	96.24		522	+1
南 信 第 二 分 区	飯田	41	69	98.77	4	70	-1
	飯田	28	70	99.42	5	72	-2
	飯田	1	35	100.00	4	35	0
	飯田	31	75	99.30	4	75	0
	伊那	1	64	100.00	3	64	0
	駒ヶ根	62	44	96.55	4	44	0
	松川	78	31	92.25	5	31	0
	箕輪	1	50	100.00	4	50	0
	箕輪						
	箕輪						
8 C			438	98.28		441	-3
総計	82クラブ		5,241	97.58		5,206	+35



■ 3-Hとロータリー財団の関係について

「保健、飢餓追放、人間性尊重プログラム(3-H運動)開発のための75周年記念基金」とロータリー財団との関係についての問合せがR.I.本部へ最近ふてきたので、事務総長からその説明書が参りました。当事務所ではこの説明書を各ロータリークラブ宛のガバナーズレターに同封しておきましたから、会員各位にご周知徹底下さるようお願いいたします。なお、この説明書は3-H基金への寄付に対するR.I.からの札状にも添付送付されます。なお、この「75周年記念基金」の募金は6月30日で終了しますので、未済のクラブはそれまでにご寄付下さい。